

# 神代之風

平成27年(2015) 10月 1日発行

本社 / 奈良県吉野郡十津川村玉置川一番地



発行:玉置神社  
発行人:弓場 季彦  
TEL 0746-64-0500  
FAX 0746-64-0429

12月 7日 山の神例祭午前10時  
12月 31日 年越大祓午後3時・除夜祭  
1月 1日 歳旦祭午前7時



# 東京で文化講演

宮司、満場の奈良まほろば館で熱弁



映像で分りやすく解説する宮司



神社の祭儀等を説明する青山参与

季彦  
弓場  
山はこのようなところです」と玉置神社及び雲大社玉置教会を中心にして現状、目指してい  
る方向など講演する機会を9月6日(日)いた  
だいた。それも2回も講演させていただき誠に  
ありがたかったです。申込者多数で会場に入れなか  
った方々もいたようで玉置山への関心の高さに  
喜びもひとしおでした。講演用レジメ、映像、  
写真なども可能な限り揃えましたが宮司の講演はレ  
ジメをはみだし、まるで参加者の皆さんと会話を  
しているようで笑いが頻繁に起きました。しか  
し、しっかりと質の高い質問をされ関心の高さもじのばれました。  
祭儀と龍笛等に関しては県神社庁の講師でもあつた青山参与がわかり  
やすくコメントしました。まほろば館の担当の方々には極めてていね  
いに対応、ご助言いただき心より感謝申し上げます。東京方面の崇敬  
者も当日はボランティアスタッフとして手伝ってくださいました。  
ありがとうございました。



玉置山に胎動が！

大日堂は古き昔より存在していたが玉置神社の境内に跡地のみ残つていた。昭和の年代そこに大日堂として再建された。大日堂社大祭は8月8日に斎行されてきている。この1～2年の間にこの大日堂社と出雲大社玉置教会に対する関心も優れて高まつてきている。当日の参拝者は約500人。大日会関係者による護摩作法はパワフル・圧巻。これは祈りの演舞か。参列の方いわく玉置山に胎動が押し寄せてきているのです。この賑わいは！



8月8日参拝者500人余

# 大日堂社 大祭





祈りのけむりが玉置山に流れる



祭主祝詞奏上

出雲大神宮の岩田宮司参列



## 大日堂社から 世界平和の祈り

祭儀をみまもる関係者や  
参拝者の皆さん

宮司挨拶



身を清める手水



隊列を整え参進



食前食後食（じき）作法



参 拝

神職も同行する正式参拝研修旅行は伊勢神宮、出雲大社につづき今は3回目で白山比咩（ひめ）神社へ9月12日・13日実施。白山比咩神社のご神体は菊理媛神（くくりひめのかみ）玉置神社の白山社にもご鎮座されていますね。観光旅行ではなくて研修旅行であるので服装、マナー、その他についても遵守いただくこといささかルール化して実施してきている。窮屈な思いされたかなとスタート時は懸念しましたが皆さんこのような旅行を体験してみたかった、心身ともにサッパリしましたとの感想を毎回いただいております。

今回は神道を学ぶ学生さんも参加され、参加される方々の層がまた厚く広がりましたね。夕食後は短い時間ですがフリーで交流の輪が一挙に広がります。これは思い出のアラベスク。

誠にありがとうございました。

村山和臣宮司様をはじめ関係の方々にはごいねいなご案内等いただきました。

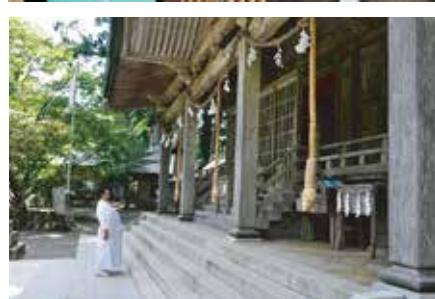
## 白山比咩神社へ

正式参拝研修旅行

## 感謝状贈呈

假家英明総代「鈴緒」奉納

年 月 日



長年にわたる崇敬者であり総代を引き受けている假家英明氏から、社頭に設けられた鈴を鳴らす鈴緒を全ての社に奉納された。8月24日本社で奉納奉告祭が斎行され、併せて宮司から感謝状が贈呈されました。新調の鈴緒を得て各社の鈴は一段と清々しい音色を響かせていました。



宮司、熊田町長御一行と歓談



正式参拝にて拝礼



禊絵を楽しむ



新十津川町長熊田義信さんが8月20日正式参拝された。同町議会議長の長谷川秀樹さんも同行。7月に新十津川町で開催した初めての試みの「崇敬者のつどい」の際にご挨拶伺いましたが誠に暖かみのあるご助言等をいただき心強かったです。新十津川町との縁の深さを垣間見る思いでもありました。

このたびの御一行様の訪れ心から感謝。

新十津川町そして十津川村の永遠の歩みの確かなこと祈念。ご参拝ありがとうございました。

## 新十津川町長御一行正式参拝

迫力！インディアンドラムを演奏する鈴木さん



音楽家、写真家として旅暮らしをも楽しみながら活動中の鈴木茂生きん呼びかけでハングドラム奏者5人の舞姫とライヤー奏者の皆さん総勢8名で演奏と舞を奉納。鈴木さんはインディアンフルート、インディアンドラム等多種類の民族楽器をあやつり、5人の舞姫の如き声を発しながら演奏した。その演音色もまた、雄叫びをあやつり、5人の舞姫の表情、5人の舞姫の足を止める者れど思わず。それは祈り陶然としたねわかり。それには足を止められました。

演奏が佳境になると陶然だす  
舞姫全員が踊りだす



## 民族楽器奉納演奏

教団大祭は午後6時30分より。神楽殿大広間で大祭、引き続いだみたまむすびの靈行。おにわ。この聖域を踏ませていただく「おにわ」。この聖域を参する鈴の音のみが聞こえる沈黙の世界暗闇の中です。靈行はおにわのみで完結ではない。このような体験をさせていただいくのかな、不思議な世界ありがたいです。多くの方々に体験していただきたいですね。



## 出雲大社教 特立133年教団大祭



皆で明るく元気よく「ご先祖さんお帰りなさい！」

## 盂蘭盆会

(うらぼんえ)

東本願寺東山淨苑



大谷暢順御法主台下ご挨拶

# 玉置山文化サロン

8月13日から16日まで営まれている。16日参詣させていただいた。初めてとのことでさぞ厳肅な行事が営まれるのだろうなと思いながらもとにかく飛び込めだ。これはどうしたことだ、次々と展開する場面。はじけるようなにぎわいの盆ダンス御法主台下も舞う。ご一門の皆様方も参詣者も喜々として。

切れのある踊りについてゆけないがひたすら体をゆすって同化したつもり。場面は展開。曲水前法要。心も異次元の世界に誘(いざ)なわれていく感じ、御法主台下の御言葉。さわさわと五体を吹き抜けていく、何やらを心にとどめて。往還灯籠奉納へ。

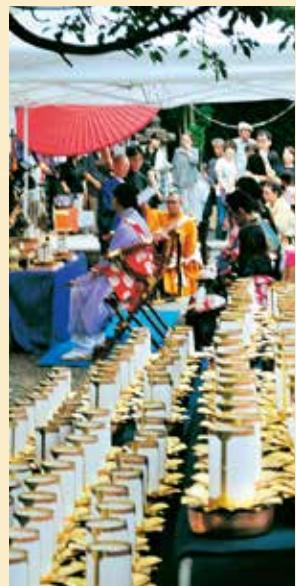
み空の星を花といい、この世の花を星という。あれ！どこかで聞いたかな圧巻！大輪の花が夕やみ迫る中で咲いたよう。参詣者それぞれの思いと共に灯籠流しへと。今宵

まで営まれている。16日参詣させていただいた。初めてとのことでさぞ厳肅な行事が営まれるのだろうなと思いながらもとにかく飛び込めだ。これはどうしたことだ、次々と展開する場面。はじけるようなにぎわいの盆ダンス御法主台下も舞う。ご一門の皆様方も参詣者も喜々として。

切れのある踊りについてゆけないがひたすら体をゆすって同化したつもり。場面は展開。曲水前法要。心も異次元の世界に誘(いざ)なわれていく感じ、御法主台下の御言葉。さわさわと五体を吹き抜けていく、何やらを心にとどめて。往還灯籠奉納へ。

み空の星を花といい、この世の花を星という。あれ！どこかで聞いたかな圧巻！大輪の花が夕やみ迫る中で咲いたよう。参詣者それぞれの思いと共に灯籠流しへと。今宵

過ぎましたこの時間は一体何だろう、夢か現か。参詣させていただきありがとうございました。さてどこへ行こう風が吹く東山淨苑か！



## 伝説の洋画家たち 二科百年展

お招きいただき9月11日大阪市立美術館での内覧会に寄せていただきました。展示されていたものは約120点、二科100年の歩み。著名な作家の作品のオンパレードに圧倒されました。このような凄い作品を前にしますと余りの迫力につかれます！ぜひ一人でも多くの方々に見ていただきたいと思います。

二科展入選の経験をもつ石坂浩二さんの音声ガイドのナレーションにもひき込まれました。素晴らしい機会をいたしました。



佐藤和哉さんの篠笛演奏が8月17日奉納され、この紙上でご紹介するのはいさか困難、それでも素晴らしい演奏でした。伸びがありボリューム感がたっぷり伝わる音色。奉納演奏での作法も見事で神々と対話しているかとさえ感じましたね。

飛躍の道をしつかり踏みしめて歩み続けてください。玉置山とのご縁もいつまでも。ありがとうございました。

# 篠笛演奏奉納



## インタビュー(1)

# 今できることは、今やります

インタビュー 水野成之(元読売新聞社会部記者)

## 神々にゆだねられた使命

—

### 「逃げたらダメ」

思っています。決断を下さねばならない人間はいつも孤独ですよ。この偉大な玉置神社の宮司に就くことは、大きな重荷を背負うことになると覚悟していました。しかし、その重荷は私の宝物の1つです。

玉置神社  
弓場季彦宮司

△これまでを総括して、どんなお気持ちでしようか。  
—私の人生の中で経験したことのない程、それはまるで異次元の世界にいるような心地すらする日々でした。簡単に振り返れませんが・・・今の率直な気持ちを述べさせていただきましょう。3つのことが頭に浮かびます。まず、友情というものに関して、「天気のよい日には2人乗る船、悪い日には1人ぼっちは船」という言葉がありますね。このことをつくづく思います。次いで、自分が理解できないことについては、何でもけなす向きがあるような気がします。最後に、人をおとしめても自ら浮上するわけでもない、にもかかわらず、そういうことをする人がいるような気もいたします。

イギリスのサッチャーワー元首相は、「ジエラシーは人間としてとても品性に欠ける感情です」という趣旨の言葉を残していますが、これは自分自身への自戒も込めて、今、実感できる言葉だな、と思っております。

【怪文書】を出されまして・・・

△大変複雑な、重圧に満ちた立場に置かれていたことが、察せられます。一番うれしかったことは?

—心強く思つたことがあります。実は私、「怪文書」というものを出されました。私は徹底的に攻撃する内容です。書いた人間は名前も名乗らず、その無責任さには怒りを覚えます。その一方で玉置神社のことを真面目に考え、こういう時でも温かく意見、ご助言をして下さる方々が思つたより多かった。私は、1人ぼっちは船ではないのだ・・・と、とてももうれしく、そして心強く思います。

△玉置神社の宮司になられて何年になりますか?  
—(弓場季彦宮司)以下略)宮司を拝命したのは平成24年11月ですから2年11ヶ月になります。

△これまでを総括して、どんなお気持ちでしようか。  
—私の人生の中で経験したことのない程、それはまるで異次元の世界にいるような心地すらする日々でした。簡単に振り返れませんが・・・今の率直な気持ちを述べさせていただきましょう。3つのことが頭に浮かびます。まず、友情というものに関して、「天気のよい日には2人乗る船、悪い日には1人ぼっちは船」という言葉がありますね。このことをつくづく思います。次いで、自分が理解できないことについては、何でもけなす向きがあるような気がします。最後に、人をおとしめても自ら浮上するわけでもない、にもかかわらず、そういうことをする人がいるような気もいたします。

イギリスのサッチャーワー元首相は、「ジエラシーは人間としてとても品性に欠ける感情です」という趣旨の言葉を残していますが、これは自分自身への自戒も込めて、今、実感できる言葉だな、と思っております。

△偉大な玉置山が私ごとき者に、大変な恵みを与えてくれたものという思いがあります。玉置山が、もしかしたら、私を呼んでくれたのかなあ、と・・・。そうであるなら、自分としては、今できることは今やるべし、全力で取り組んでいかねばならない、そして波風を立てるのは避けたいからと、課題を先送りするのは職務放棄といつてよいのではないか——こんな風に思うのです。

△例えれば?  
—玉置神社の神代杉に関して、「その樹勢回復のために宿り木を除去するのが適当である」と県が指定した樹木医の見解があり、村役場を経由し県の許可を得て、宿り木を除去いたしました。村の責任者は「除去後に初めて知った」旨の発言をしたそうですが、不可解ですね。私は安易を避け、熟慮を重ねて決断いたします。

△なぜですか?  
—私は本当に臆病(おくびょう)ですから、こういう立場に立つて、神々からお叱りを受けることはしたくない。「死にものぐるいでやりました」「私はもうこれでいいことをしてもしー。」

△使命感、責任感を喪失した時代——今はそう言われる情けない時代です。神々にゆだねられた使命なら、どんなことをしてもー。

—私は本当は臆病(おくびょう)ですから、こういう立場に立つて、神々からお叱りを受けることはしたくない。「死にものぐるいでやりました」と言つて、堪忍してもらえるよう、そこまで頑張りたいということです。それでもアカンといふのでしたら、駆逐してくれるでしょう。信念を貫くには、私の座標軸となつていていますが、「無知と悪意に満ちた言葉に影響されない」「不幸は無知につけ込んでくる」と自分に言い聞かせ、よつて日々勉強に励むのです。もう一つ、「守るだけでは城はもたない」と申しますが、絶えず現状と近未来を見据え、脱皮することが必要だと考えております。

△戦わねばならない時に戦わないのは、ただの弱虫だと思いますが、絶えず現状と近未来を見据え、脱皮することが必要だと考えております。

△「怪文書」を出されまして・・・

△大変複雑な、重圧に満ちた立場に置かれていたことが、察せられます。一番うれしかったことは?

—心強く思つたことがあります。実は私、「怪文書」というものを出されました。私は徹底的に攻撃する内容です。書いた人間は名前も名乗らず、その無責任さには怒りを覚えます。その一方で玉置神社のことを真面目に考え、こういう時でも温かく意見、ご助言をして下さる方々が思つたより多かった。私は、1人ぼっちは船ではないのだ・・・と、とてももうれしく、そして心強く思います。

△使命感が消えた世の中に

△使命感、責任感を喪失した時代——今はそう言われる情けない時代です。神々にゆだねられた使命なら、どんなことをしてもー。

—私は本当は臆病(おくびょう)ですから、こういう立場に立つて、神々からお叱りを受けることはしたくない。「死にものぐるいでやりました」と言つて、堪忍してもらえるよう、そこまで頑張りたいということです。それでもアカンといふのでしたら、駆逐してくれるでしょう。信念を貫くには、私の座標軸となつていていますが、「無知と悪意に満ちた言葉に影響されない」「不幸は無知につけ込んでくる」と自分に言い聞かせ、よつて日々勉強に励むのです。もう一つ、「守るだけでは城はもたない」と申しますが、絶えず現状と近未来を見据え、脱皮することが必要だと考えております。

### 支えてくれる3人の言葉

△さて、これまで何を為し、何に挑戦してきた?

—私は「山上の安らぎと文化の香りがほのかにする小さな都」づくりを目標(ひょうばう)しています。

△この思いは、次のような3人の言葉が太い幹となつて支えてくれております。「人生にはどんなところでも、気を付けて耕せば、豊かな収穫をもたらすものが、手の届く範囲にたくさんある」(サミエル・ウルマン)「大切なことは目に見えないんだよ」(サンテグジュペリー・星の王子さま)「安らぎは最高の幸せです」(文豪・ド・ストエフスキイ)

### 知的女性、上質女性にも人気

△なかなか上質な思いを持つて様々なことを試みているのですね。だから玉置神社は知的女性(雑誌風に言えば知的女子)、上質女性を中心の人気が高いのでしょうか。では具体的なイベントを。

—「参籠(さんろう)朝拝体験」や「巫女体験」事業を開催したところ、おっしゃるような知的女性の方々がたくさん参加し、大変感激して下さいました。男性向けの「弓神樂(ゆみかぐら)体験」も好評です。玉置神社の弓神樂は、全国的にも珍しい古来神事(王城火防鎮護)、



◇ 好評の神社広報は全て「手づくり」

神社広報にも力を注いでいます。知られないことは、何もしていません。従つていろいろ発信を強化しました。広報紙「神代之風」第1号を平成25年1月新春号として発行しました。その後、年4回プラス臨時号を発行し、今回で第15号になります。全国の崇敬者の皆さんにお届けしていますが、大好評です。「誰かプロに任せているのですか」とよく聞かれますが、いっさい「手づくり」。編集者の上地恒夫さんははじめ適宜神社スタッフもかわつくつてくれております。その他、ホームページのリニューアルも。

おもしろいのは神職同行の参拝研修旅行。これまでに伊勢神宮、出雲大社、白山比咩神社（石川県）の3回企画しました。神職の「食作法（じきさほう）」などを織りませましてのユニークな研修で、観光旅行ではないので窮屈に感じられるかな、と心配ましたが、その逆で、「こんな経験をしてみたかった」と喜んでいただき、参加者同士の交流の輪がどんどん広がっているようです。もうひとつ、「崇敬者の集い」を開催いたしました。

◇ それは何ですか？

玉置神社の崇敬者、つまりこの神社に心を寄せる方は今把握しているだけで5000人を越えました。村外の方ばかりで、全國にいらっしゃいます。年1回くらいは、玉置山を下りて各地に出かけ、崇敬者の皆さんたちと交流したいと考え、始めたものです。実は、神社の財政運営ですが、崇敬者の皆さんからの例えは、祈祷料とか社殿修繕費、お供えなどの収入でおむね95%がまかなわれています。村内の方は全員が氏子ですが、現在、氏子さんからの会費はいっさいいただいておりません。そんなわけで崇敬者の皆さんのお気持ちを大事にしたいのです。

◇ 神社広報にも力を注いでいますが、知らないことは、何もしていません。従つていろいろ発信を強化しました。広報紙「神代之風」第1号を平成25年1月新春号として発行しました。その後、年4回プラス臨時号を発行し、今回で第15号になります。全国の崇敬者の皆さんにお届けしていますが、大好評です。「誰かプロに任せているのですか」とよく聞かれますが、いっさい「手づくり」。編集者の上地恒夫さんははじめ適宜神社スタッフもかわつくつてくれております。その他、ホームページのリニューアルも。

おもしろいのは神職同行の参拝研修旅行。これまでに伊勢神宮、出雲大社、白山比咩神社（石川県）の3回企画しました。神職の「食作法（じきさほう）」などを織りませましてのユニークな研修で、観光旅行ではないので窮屈に感じられるかな、と心配ましたが、その逆で、「こんな経験をしてみたかった」と喜んでいただき、参加者同士の交流の輪がどんどん広がっているようです。もうひとつ、「崇敬者の集い」を開催いたしました。

◇ それは何ですか？

玉置神社の崇敬者、つまりこの神社に心を寄せる方は今把握しているだけで5000人を越えました。村外の方ばかりで、全國にいらっしゃいます。年1回くらいは、玉置山を下りて各地に出かけ、崇敬者の皆さんたちと交流したいと考え、始めたものです。実は、神社の財政運営ですが、崇敬者の皆さんからの例えは、祈祷料とか社殿修繕費、お供えなどの収入でおむね95%がまかなわれています。村内の方は全員が氏子ですが、現在、氏子さんからの会費はいっさいいただいておりません。そんなわけで崇敬者の皆さんのお気持ちを大事にしたいのです。

悪魔退散）で、所作は口伝。男性の神子（みこ）が太鼓、しゃんしゃん鳴る神楽鈴に合わせ優雅に舞います。さらにはいろんな奉納活動（音楽、舞、狂言、書、写真、彫刻など）を積極的に受け入れています。これらは神々へのご奉納ですので事前PRはしておりません。

## 好評の神社広報は全て「手づくり」

### ◇ その集いはどこで？

第一回は今年7月、北海道の新十津川町で開きました。明治の大水害の時、村の人々が多く移住したところです。ここには玉置神社の御靈を分霊しております。その他、



東京の奈良県の施設・奈良まほろば館でも文化講座の講演をさせていただきました。玉置山ファンが詰めかけて下さり満席の盛況・・・ありがとうございます。さらに県神社では「大和学講座」の一環として講演をさせていただきました。

### 参拝者が激増　今、玉置神社が胎動――

◇ エネルギッシュで驚きますね。神社の参拝者は増えたでしよう。

おかげさまで激増しております。26年度は25年度対比で19000人増え、47060人にのぼりました。平日でも500人を越える時も。今年九月のシルバーウィーク期間中、1000人を上回る方がお訪ね下さいました。参拝の方から「今、玉置神社は胎動していますね」というお言葉をいたいでいます。要するに、何が今、新しく誕生しようとしている、ということでしょうか。玉置の鳥たちも、「皆さん、ごきげんいかが？ 今日もようお参り！」一にぎやかにそう鳴いていますよ。

### 心のセイフティーネット

◇ 世の中、とても苦しみ、悩みの多い時代ですね。希望を持ってない人もたくさんいます。しかし、人は希望を捨てない。清く澄み渡った山上に希望の一筋を求めて登つて来られる方も・・・。

安らぎだけでなく、心のセイフティーネットと受け止めてもらえるようにしたい、と考えていました。私の胸に魚の釜中（ふちゅう）に遊ぶが如し」という言葉が浮かびます。滅亡の近いことを知らず、のんきに遊んでいます。釜の下からボイルされ段々温かくなつていく。

沸騰に気が付いた時には、もう遅い。こんな状況を私は常に心に止めております。勇気を持つて一步前へ出れば何かが動き出す、人生を左右するのは環境ではなく「信念」「願望」である。そして歴史と品格はそう簡単には手に入らない。玉置山はこうした思いをしつかり発信していただきたいと考えます。

### 私のおしゃべりで皆さんを元気に

作家の林真理子さんが「見たいものを見に行つたりするなどすることは大事なこと。そうして費やしたお金は何に一番反映されるかといえば、会話のおもしろさです」とおっしゃっています。山上に来られた皆さんに私のしゃべりで少しでも癒しを感じ、「今日は良い日だった。元気が出たよ」と思っていただければ。

### 事実をしつかり発信する必要

◇ 最後に、話残したものがあれば。女性神職として親類を採用したなどという趣旨の主張をしている人もおられる。先例あるにもかかわらず事実を的確に把握しないでおっしゃる。私は健全な神社運営のためには、沈黙だけでなく事実をしつかり発信し、誤解の無いようにしていかねばならない、と痛感しています。また参拝者、崇敬者の皆さんから、これまでになかったような質問がありますので、日々研鑽し、まだまだ勉強不足の自分を補つていかねば、と思つております。

◇ 玉置神社には素晴らしい数々の文化財があり、その保存策、さらに参拝者から強い要望のある宿泊受け入れなど多くの課題があるようですが、それらはまたの機会に。終わり

### 独り言

白状すると、長時間のインタビューは疲れ切った。弓場宮司は博学の人。年間100冊の読書家相手で、次々繰り出す名言、引用語などに「うぬぬ」、と。話には相当深刻な内容が含まれたが、かなり抑えて語つていたような印象がある。文章化には神経を使つた。

歴史では「もしも」があるが、直感だが、宮司には「もしも」は不似合いだろう。現実主義と理想主義、温和と厳格が混在した不可思議さ。あえて表現すれば、若者風には「かわいい」だろう。〔武士（もののふ）〕の魂を感じたのは幻想だろうか。（水野）

## 参籠朝拝体験

平成26年に玉置神社で初めて参籠朝拝体験を試みました。その経験の上で今年度も9月19日から20日の1泊2日で開催しました。

この体験は1000組の玉置山に鎮座している玉置神社を会場としているのが一番の魅力になります。

玉置神社の中で御神威溢れる雰囲気を感じながら、正式な参拝の作法・正坐・朝拝・祝詞清書・神子・巫女・食事作法・登拝等の体験など大変喜ばれています。

一度体験をしたら玉置神社のファンになる方がほとんどで、後にはボランティアとして玉置神社での催しのお手伝いに来られる方も増えています。



早朝の掃除から

神社の歴史など学ぶ



襖絵を見学

平成26年から「樅原会場」で21年間続いている「雅楽教室」のメンバーと玉置神社の職員との雅楽交流の会が開かれている、今年は8月31日と9月1日の両日に別れて開催された、樅原から雅楽教室に参加している方が11時頃に到着し、玉置神社で正式参拝の後に御本殿で「越天樂」1曲を奉納された。普段の教室とは違う環境で緊張しながらの演奏で参加者の心の中に強い思い出が出来たようだ。昼からは社務所で交流の雅楽教室が開かれ充実した時間です。この玉置神社の境内で過ごされ、遠くまで来て参拝がそれも奉納が出来嬉しかったと話されていた。



## 雅楽交流

### 交通安全キャラクター・グッズの安全祈願



キャラクター・グッズ製作作業中の皆さん



交通安全週間期間中にドライバーに手わたりのための「交通安全キャラクター・グッズ」の製作作業と安全祈願のため、五條警察署十津川警察署舎田中郁二所長他2名と、交通安全協会母の会の皆さんが来社。

## 神社日誌抄

1日は出雲大社玉置教会、15日は三柱神社、24日は本社の月次祭、8日は大日堂社の開帳を執り行っています。

6月14日	・十津川村商工会東さん他青年部6名の方々が清掃奉仕
6月29日	・玉置山山頂防災無線ネットワーク拡充の為関係者現地視察説明
6月30日	・夏越大祓茅の輪神事執り行われた・夏越大祓茅の輪神事に林眞理子さんボランティア参加
7月7日	・出雲大社「くにたまの会」宮司出席
7月9日	・出雲大社教第五教区夏季研修総会に宮司出席
7月10日	・竹林院ご一行32名様参拝
7月11日	・第一回玉置神社「崇敬者のつどい」が北海道新十津川町で開催
7月16日	・台風11号接近の為宮司他職員2名が泊まり込む
7月21日	・境内石垣の一部が崩落文化庁から五島昌也文化財調査官が現地調査
7月24日	・恋しくて十津川「作詞作曲者福西恒さんカラオケ全国展開決定お礼の正式参拝
7月22日	・大阪大学調査研究グループご一行様5名が来社
7月21日	・新十津川町児童生徒職員訪問団37名が来社
8月6日	・国際民間協力団体公益社団法人アジア協会アジア友の会8名様が来社宮司と意見交換
8月6日	・大阪府立杉災害復旧工事作業開始
8月7日	・大日堂社大祭
8月17日	・出雲大神宮岩田昌憲宮司他7名様が正式参拝
8月20日	・新十津川町長熊田義信他4名様正式参拝午後13時～14時30分責任役員会総代会合同総会開催
8月22日	・参籠朝拝体験女性14名参加し開催
8月24日	・総代假屋英明さん鈴緒奉納奉告祭斎行
8月25日	・台風15号接近 対応準備
8月28日	・奈良県広域消防担当者が玉置山頂のへりによる資材搬入完了との報告に来社
9月7日	・宮司、東京で文化講演
9月12日	・白山比咩ひめ 神社正式参拝研修旅行